

2017 人材ギャップ・レポート

豊富な雇用機会

翻訳: 羽田邦雄 PMP

PMI は 2008 年以來、4 年毎にアンダーソン・エコノミック・グループ (AEG) に人材分析を依頼しています。2016 年のデータに基づいた最新のレポートでは、雇用機会やキャリア形成が実質的な給与水準と深く関係していることを指摘しています。プロジェクト・マネジャーに対する将来の需要が他の職種への需要より急速に高くなっています。

一方、組織的な観点からすると、プロジェクト人材への需要の高まりと人材の減少により、前者の需要スピードがその適格人材の供給スピードを上回るかもしれません。この人材ギャップは重要なリスクを提起しています。組織はその戦略的な取り組みを実行し、変化を起こし、変革をもたらすためにこのような人材を求めているのです。プロジェクト人材の不足は調査した 11 か国で 2027 年までの GDP を 2079 億 US ドル減少させることになりかねません。

業界が成長する一方で労働人口が減少するという状況下で、適格なプロジェクト専門職への需要が着実かつ上昇傾向にあるということをこの研究結果は明らかにしています。AEG は高度なプロジェクトマネジメントを実施する 7 業種においてプロジェクトマネジメントに関連する人材が 2027 年までに 33%増加すると予測しています。この数字は約 2200 万人の求人を示しています。企業は、2027 年までに 8770 万人がプロジェクトマネジメントに関連する役割に就くと予測しています。

米国の状況

米国ではプロジェクトマネジメント関連の求人件数は労働人口全体の中でより急速に増加しています。このレポートでは 2017-2027 年で、全体で 6.5%、プロジェクトマネジメント職では 8.5%の伸びを示すと推測しています。

米国でプロジェクトが主流となっている業種では大規模プロジェクトのマネジメント業務が非常に多く、プロジェクトマネジメント系の人材がさらに 210 万人必要になると予測されています。

分野には依存しない

あまりプロジェクトが主流でない分野でもプロジェクトマネジメント関連の求人の増加がみられるでしょう。

分析した国々の中でプロジェクトマネジメントの役割を持った求人が、最も増加するのは製造・建設業界の約 970 万人、次に情報サービス・出版の 550 万人以上、そして金融・保険の 460 万人以上となっています。

米国ではプロジェクトマネジメントに関連した雇用はヘルスケア分野で 17%の増加が見込まれ、これは全分野で最も高い比率となっています。

11 か国の分析ではプロジェクト型の業種は 2017 年から 2027 年にかけて、GDP で 5.6 兆 US ドルを創出するでしょう。この数字は中国の 2.8 兆 US ドル超、米国の 8740 億 US ドル超が含まれています。（2010 年基準の実質 US ドル）

肝心なのは、プロジェクト・マネジャーは生産性向上への重要な貢献者となり、その結果、国の富を増加させ、経済を成長させ、そして国民の生活水準を上げる重要な貢献者になると言えます。プロジェクト・マネジャーは職種として素晴らしく成長することでしょう。

人材ギャップの縮小、そして皆さんの可能性の最大化に対して PMI が貢献できること

現役および将来のプロジェクト実務者の皆さんに対し、PMI は資格認定制度や知識、人材間のつながりを提供し、人材ギャップによって創出されるキャリア形成の機会の活用を主導しています。私たちの Thought Leadership レポートにもありますが、PMI は組織やプロジェクト・リーダーに対し、プロジェクト人材を創り出し、維持し、成長させるための考え方を提供しています。

国際的に認められているプロジェクトマネジメント・プロフェッショナル (PMP) ®のような PMI の資格は有資格人材として差別化を可能にし、さらにスキルを強化するための道筋を提供しています。34 か国での実務者の給与水準を報告した「Earning Power: Project Management Salary Survey (第 9 版)」によれば、平均給与は PMP®資格保有者の方が非保有者より 20%高くなっています。

PMI のタレント・トライアングル®はプロジェクトマネジメントを重視する雇用者が最も必要としているスキルはリーダーシップ・スキル、テクニカル・スキルに加え、戦略的かつビジネス上の見識を示しています。PMI の会員制度はプロジェクトの専門家になるために、またプロジェクトマネジメント・キャリアを伸長させるために必要となるスキル・資源・人脈を獲得する手助けをしています。

人材ギャップ・レポートについて

「Project Management Job Growth and Talent Gap 2017-2027 (プロジェクトマネジメント 雇用の拡大と人材のギャップ 2017 - 2027)」は PMI から委託され AEG が実施したプロジェクトマネジメントに関連する雇用と企業の行動に関する第 3 回目の評価結果です。利用可能なデータに基づき、AEG は、米国および 10 か国のプロジェクトマネジメントに強く依存している業種における求人を見込みを予測しました。また AEG は将来の求人に対して新たなプロジェクト人材を準備できない場合の経済コストを見積もる手法を開発しました。

2017 年の手法は 2008 年と 2012 年に行われた 2 回の人材ギャップ評価とも整合しています。2008 年の分析で、プロジェクトマネジメントを中心とする業種の数が増えていることを証明し、その傾向は今も続いています。2012 年の分析ではプロジェクト人材の需要が他の職種より急速に高まっていることを明らかにし、2017 年の報告ではその傾向が加速していることを示しています。

レポートのスナップショット

- 2027年のプロジェクトマネジメント関連の雇用はその大多数（75%以上）が中国とインドで占められるでしょう。インドのプロジェクトマネジメントに関する雇用は2017年から48%増え2170万人に、中国では32%増え4600万人になるでしょう。
- プロジェクトマネジメントが中心となっている職種は増え続け、雇用全体の中でも大きな比率を占め、2006年で5.6%であったものが2027年には8.3%になるでしょう。
- 米国のプロジェクト型の業種の中で、プロジェクトマネジメントが中心となっている職種の2017年の賃金（平均給与）はプロジェクトマネジメントが中心でない職種の82%増しと、はるかに高くなっています。

分析した国

このレポートを作成するため、AEGは以下の国々のデータを調査しました。以下の図は2027年までのプロジェクトが主流となっている業種でのプロジェクトマネジメント職の予測数を示しています。

カナダ	78万
米国	870万
ブラジル	240万
英国	120万
ドイツ	200万
サウジアラビア	22.8万
アラブ首長国連邦	9.4万
インド	2170万
中国	4600万
日本	380万
オーストラリア	57.4万

「Project Management Job Growth and Talent Gap 2017-2027」は以下サイトからダウンロードできます。 <https://www.pmi.org/learning/careers/job-growth>